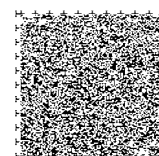
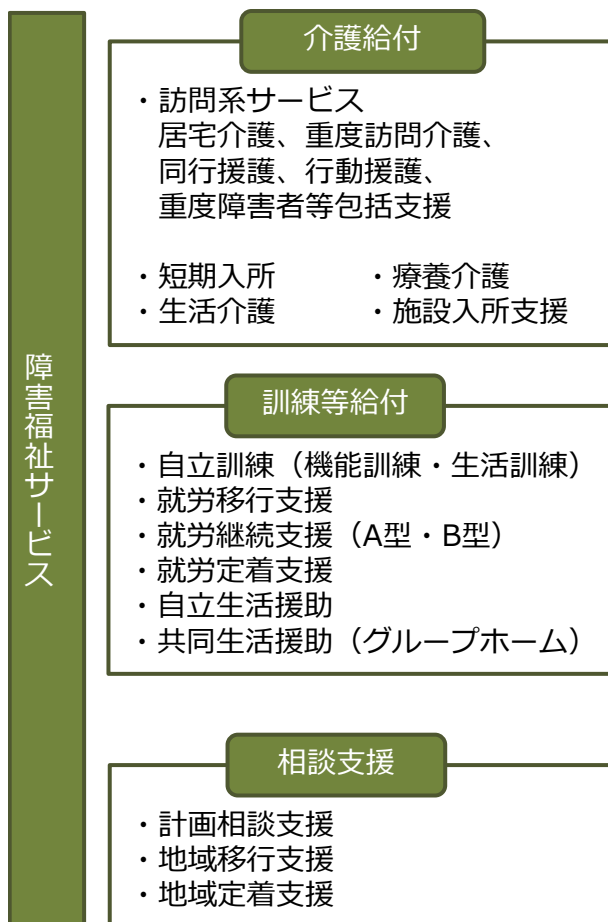


第3章 障害福祉サービスの見込み量と確保策

本計画では、見込み量を算定する障害福祉サービスを次のように区分して整理しています。



1 介護給付

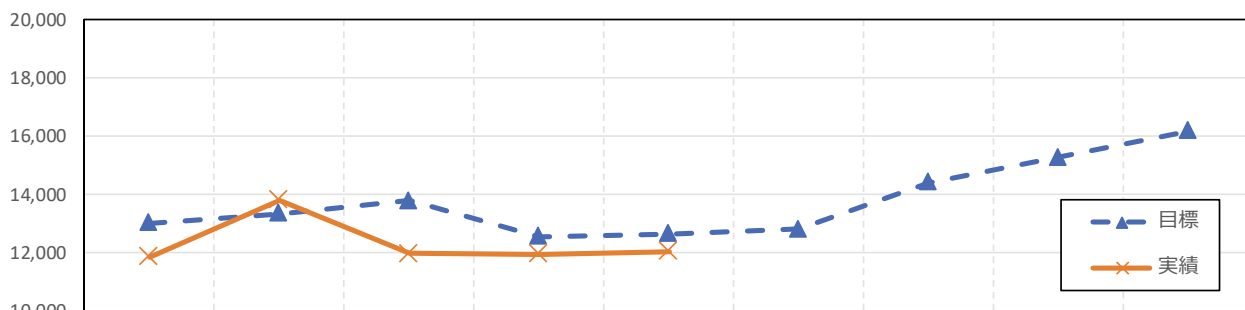
(1) 訪問系サービス

訪問系サービスは、次の5つのサービスを統合したものです。

サービスの種類	サービスの内容
居宅介護	ホームヘルパーを派遣し、自宅で入浴や排せつ、食事等の介助を行います。
重度訪問介護	重度の障害があり常に介護が必要な人に、自宅で入浴や排せつ、食事等の介助や外出時の移動等を総合的に行います。
同行援護	視覚障害により移動に著しい困難がある人に、外出に必要な情報の提供や移動の援護等を行います。
行動援護	知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な人に対し、行動する際、必要な介助や外出時の移動の補助等を行います。
重度障害者等包括支援	常に介護が必要で、必要度が著しく高い人に居宅介護等のサービスを包括的に提供します。

< 実績と目標～訪問系サービス～ >

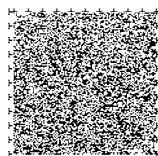
(利用時間/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	12,997	13,339	13,767	12,540	12,624	12,792	14,400	15,264	16,180
実績	11,846	13,802	11,961	11,931	12,035				

▼参考 (利用者数/月)

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	152	156	161	149	150	152	166	176	187
実績	140	164	130	138	148				



① **利用実績と今後の見込み**

訪問系サービスの令和元年度実績の利用者数は 148 人／月、総利用時間は 12,035 時間／月でした。本計画においては、令和 5 年度の利用者を 187 人／月、総利用時間は 16,180 時間／月と見込みます。

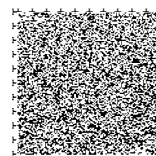
② **見込み量算出の背景**

訪問系サービスの利用者数・利用時間は平成 29 年度以降、減少傾向にありましたが、同時に当該の障害福祉サービス事業所が減ったことが要因の一つと考えられます。

障害のある人の高齢化や、在宅での生活ニーズは高いことから、在宅生活を支えるサービスの需要は潜在的にあることを踏まえて算出しています。

③ **確保の方策**

増加するサービス利用量に対応するため、介護保険事業者等への情報提供を進め、障害福祉サービスの訪問系サービスへの参入を促していきます。また、ホームヘルパーの人材確保に向け、民間事業者が行うヘルパー養成講座への支援等に取り組んでいきます。

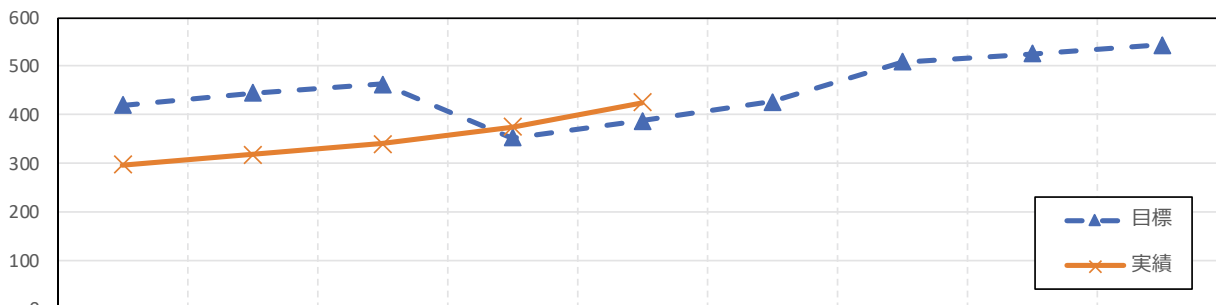


(2) 短期入所（福祉型・医療型）

短期入所は、在宅の障害のある人や障害のある子どもを介護する人が病気の場合等に、障害のある人や障害のある子どもが施設に短期間入所した際、入浴、排せつ、食事の介護等を受けるサービスです。

< 実績と目標～短期入所（福祉型）～ >

(人日/月)



	第4期計画			第5期計画		第6期計画			
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	419	444	462	352	387	426	509	526	543
実績	297	317	339	375	425				

▼参考（利用者数）

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	53	56	58	86	94	104	85	88	91
実績	52	77	60	66	64				

人日：ひと月当たりの利用日数

① 利用実績と今後の見込み

短期入所（福祉型）の令和元年度実績の利用者数は64人/月、総利用日数は425人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を91人/月、総利用日数は543人日/月と見込みます。

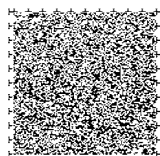
② 見込み量算出の背景

短期入所（福祉型）は、利用実績（総利用日数）が増加しています。

1人当たりの利用日数を直近の平均値から「6.0日/月」と設定して、利用者数は引き続き増加することを見込んで算出しています。

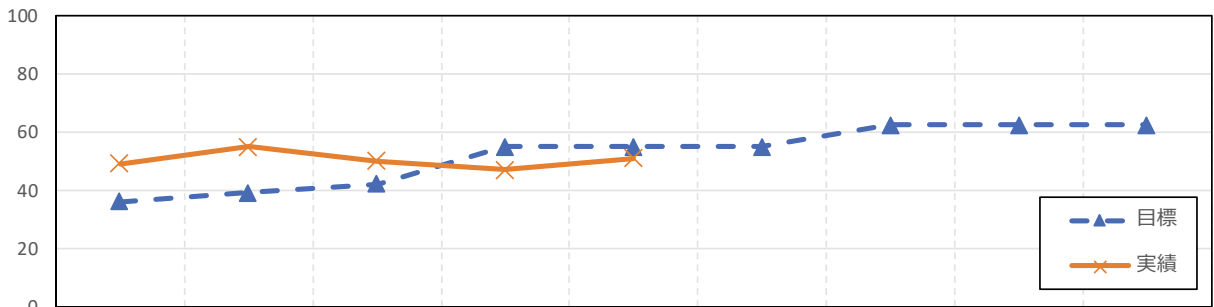
③ 確保の方策

市内や近隣のサービス提供事業者と連携し、サービスの提供体制の拡充に努めるとともに、利用者に対する情報提供を行うことで、現在ある事業所を効率的に利用できるようなります。



< 実績と目標～短期入所（医療型）～ >

(人日/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	36	39	42	55	55	55	62	62	62
実績	49	55	50	47	51				

▼参考（利用者数）

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	12	13	14	9	9	9	12	12	12
実績	6	9	8	9	12				

④ 利用実績と今後の見込み

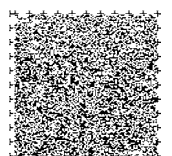
短期入所（医療型）の令和元年度実績の利用者数は12人/月、総利用日数は51人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を12人/月、総利用日数は62人日/月と見込みます。

⑤ 見込み量算出の背景

短期入所（医療型）は、50～60人日/月前後の水準で横ばいとなっています。今後も、現在の利用ニーズが維持されるものとして算出しています。

⑥ 確保の方策

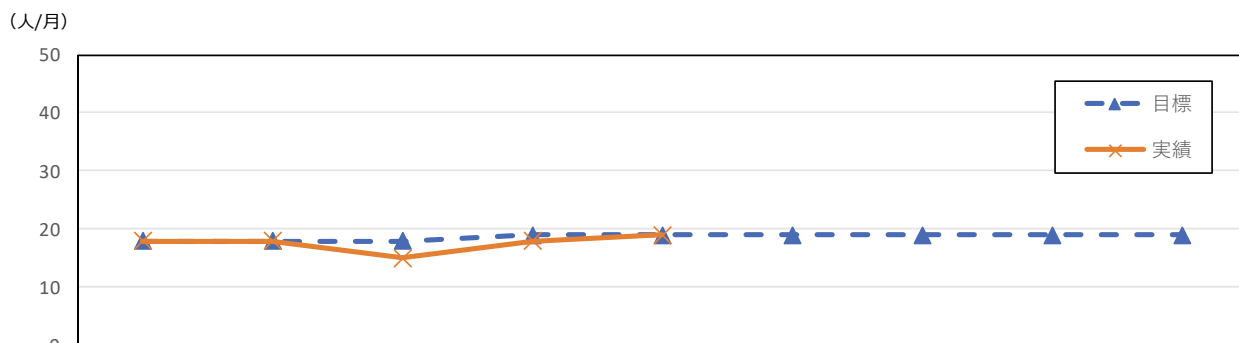
市内や近隣のサービス提供事業者と連携し、サービスの提供体制の拡充に努めるとともに、利用者に対する情報提供を行うことで、現在ある事業所を効率的に利用できるよう支援体制の構築を進めていきます。



(3) 療養介護

療養介護は、医療が必要で、常に介護を必要とする人に、主に昼間病院等において機能訓練、療養上の管理、看護等を提供するサービスです。

＜ 実績と目標～療養介護～ ＞



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	18	18	18	19	19	19	19	19	19
実績	18	18	15	18	19				

① 利用実績と今後の見込み

療養介護の令和元年度実績の利用者数は19人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を19人/月と見込みます。

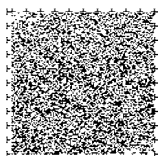
② 見込み量算出の背景

療養介護は、18～19人/月の利用で推移しています。

今後も、現在の利用ニーズが維持されるものとして算出しています。

③ 確保の方策

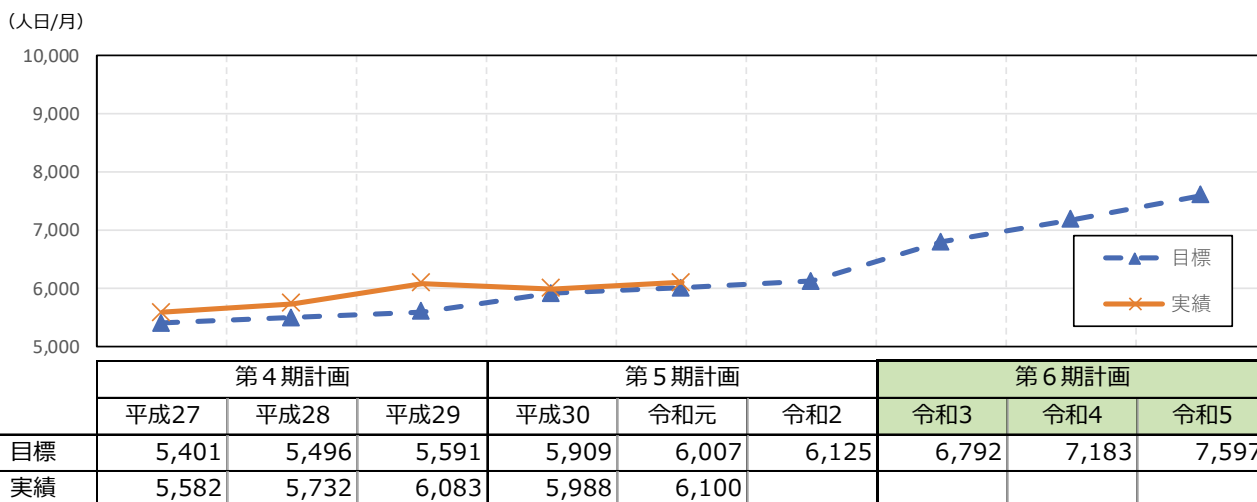
今後もサービスを必要とする人やサービス提供事業所の状況把握に努めるとともに、引き続き、東京都や医療機関等と情報交換を行いながら、利用可能な施設等の情報収集等に努めていきます。



(4) 生活介護

生活介護は、常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動等の機会を提供するサービスです。

＜ 実績と目標～生活介護～ ＞



▼参考（利用者数）

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	283	288	293	301	306	312	339	359	380
実績	281	292	287	302	321				

① 利用実績と今後の見込み

生活介護の令和元年度実績の利用者数は 321 人/月、総利用日数は 6,100 人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を 380 人/月、総利用日数を 7,597 人日/月と見込みます。

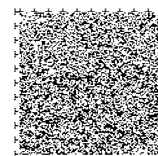
② 見込み量算出の背景

生活介護は、平成29年度以降、総利用日数が 6,000 人日/月を前後して推移していますが、利用者数は増加しています。

1人当たりの利用日数が減少しても、利用者数が伸びていることから、潜在的な利用ニーズは高いと捉え、利用者数が増加するものとして算出しています。

③ 確保の方策

市内事業者と連携を図り、定員の拡充や弾力化について協議を進めるとともに、事業所の新規参入に向け、事業者に対する情報提供等の支援を引き続き実施していきます。

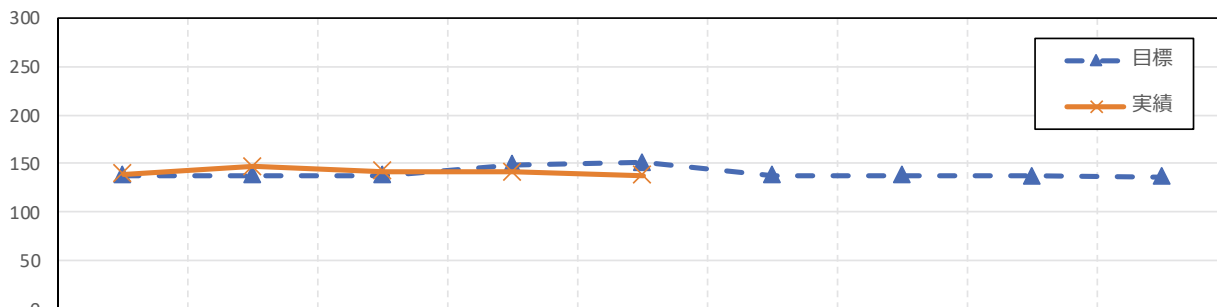


(5) 施設入所支援

施設入所支援は、施設に入所する障害のある人に対し、主に夜間において入浴や排せつ、食事の介護等の支援を行うサービスです。

< 実績と目標～施設入所支援～ >

(人/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	138	138	138	149	151	138	138	137	136
実績	139	147	142	141	138				

① 利用実績と今後の見込み

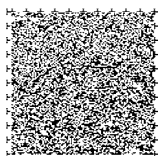
施設入所支援の令和元年度実績の利用者数は138人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を136人/月と見込みます。

② 見込み量算出の背景

障害のある人の地域での生活環境の充実を目指す本市においては、施設入所支援の新規の施設整備が制限されている中においても、現状の利用者数を維持しながら、入所者の地域移行と新規の利用者のバランスを考慮し、適切な量を算出しています。

③ 確保の方策

国が示す基本方針を踏まえて施設入所者の地域移行を促しているところです。地域移行を希望する人と地域生活の継続を希望される人に対して、障害のある人やその家族の意向を聞きながら引き続き情報提供や相談支援等の充実を図っていきます。



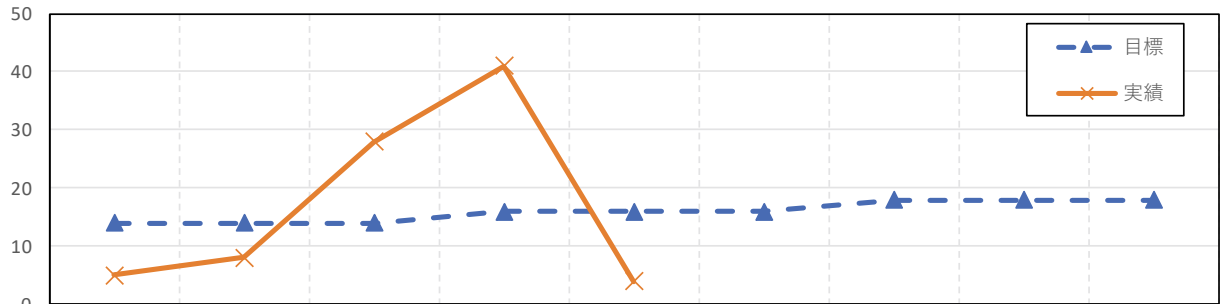
2 訓練等給付

(1) 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

自立訓練は、自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。

< 実績と目標～自立訓練（機能訓練）～ >

(人日/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	14	14	14	16	16	16	18	18	18
実績	5	8	28	41	4				

▼参考（利用者数）

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	2	2	2	2	2	2	3	3	3
実績	1	1	2	2	1				

① 利用実績と今後の見込み

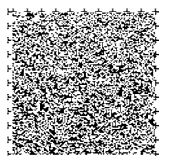
機能訓練の令和元年度実績の利用者数は1人/月、総利用日数は4人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を3人/月、総利用日数を18人日/月と見込みます。

② 見込み量算出の背景

機能訓練は、市内に既存の事業所がないことから、市外のサービス提供体制に依存している状況です。市内には地域活動支援センター（保谷障害者福祉センター）におけるリハビリテーションの活用が進んでいることから、現状の利用ニーズへの提供体制を維持しながら、今後の利用者のニーズを踏まえて算出しています。

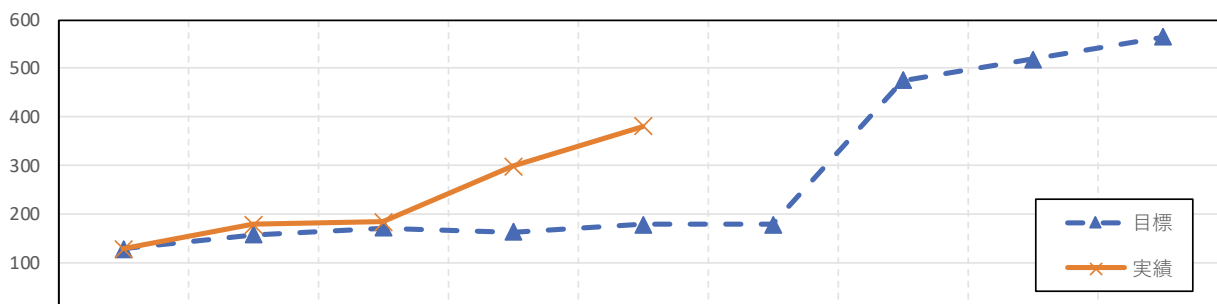
③ 確保の方策

引き続き令和元年度に実施した利用者アンケートの結果を踏まえ、地域活動支援センターとしての役割を検証し、今後、保谷障害者福祉センターを活用しながら、日中活動の場の整備状況等も考慮し、増加していく利用ニーズに対するあり方の検討を進めていきます。



＜ 実績と目標～自立訓練（生活訓練）～ ＞

(人日/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	128	157	171	162	178	178	475	518	565
実績	128	178	183	298	380				

▼参考（利用者数）

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	9	11	12	10	11	11	30	33	36
実績	8	11	12	22	29				

④ 利用実績と今後の見込み

生活訓練の令和元年度実績の利用者数は 29 人/月、総利用日数は 380 人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を 36 人/月、総利用日数を 565 人日/月と見込みます。

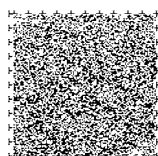
⑤ 見込み量算出の背景

生活訓練は、令和元年度に生活訓練事業所が整備されたことに伴い、利用実績が大幅に伸びています。

今後も、手帳所持者の増加が見込まれることや、潜在的な利用ニーズが高いことから、平成29年度から令和元年度にかけての利用の伸びは継続するものと見込んで算出しています。

⑥ 確保の方策

今後もサービスを必要とする人やサービス提供事業所の状況把握と利用可能な施設等の情報収集等に努めていきます。また、市内においてサービスの提供量を確保できるよう、事業所等との連携・協力を図っていきます。

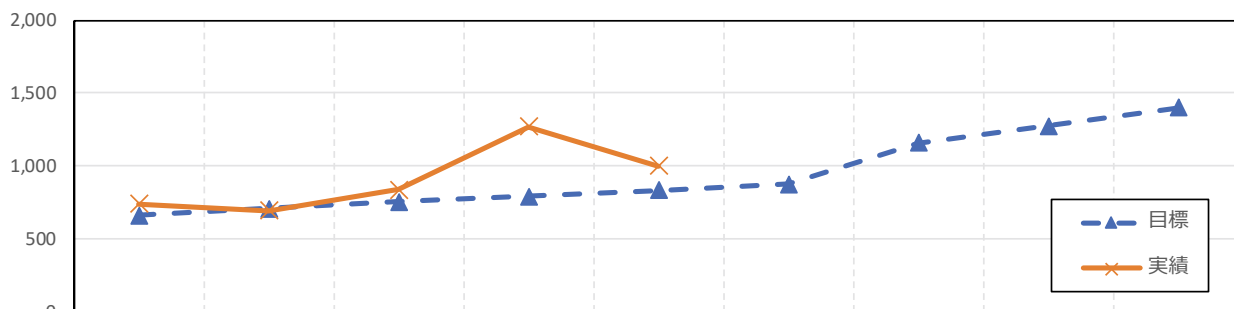


(2) 就労移行支援

就労移行支援は、一般就労を希望する人に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。

< 実績と目標～就労移行支援～ >

(人日/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	655	703	751	787	829	871	1,156	1,271	1,398
実績	736	688	833	1,266	997				

▼参考 (利用者数)

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	41	44	47	48	51	53	70	77	85
実績	49	38	52	75	60				

① 利用実績と今後の見込み

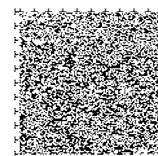
就労移行支援の令和元年度実績の利用者数は 60 人/月、総利用日数は 997 人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を 85 人/月、総利用日数を 1,398 人日/月と見込みます。

② 見込み量算出の背景

就労移行支援は、平成29年度から令和元年度にかけて利用実績が目標値を大きく上回っています。令和元年度に就労移行支援事業所が整備されたことも踏まえ、利用ニーズは更に高まることを見据えて算出しています。

③ 確保の方策

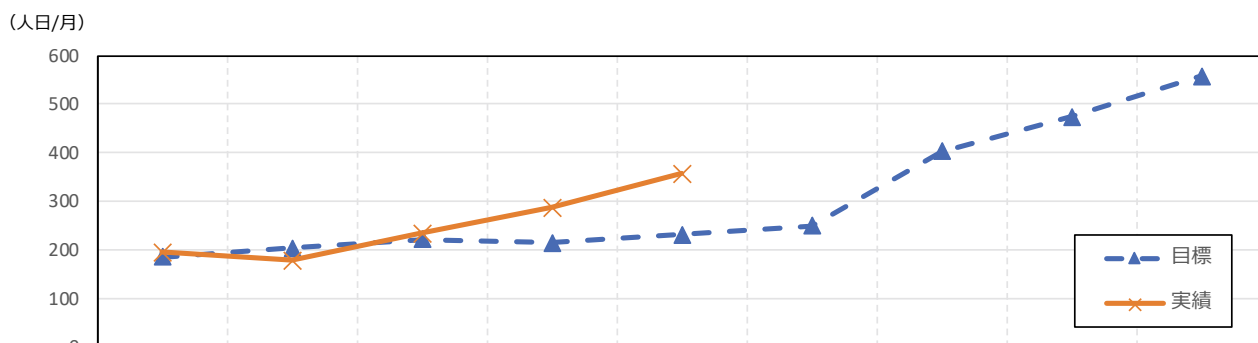
事業者の新規参入に向け、事業者に対する情報提供等の支援を引き続き実施していきます。



(3) 就労継続支援（A型・B型）

就労継続支援は、一般就労が困難な人に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行います。雇用契約を伴うA型と、雇用契約を伴わないB型があります。

< 実績と目標～就労継続支援（A型）～ >



	第4期計画			第5期計画		第6期計画			
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	184	203	221	214	231	249	403	474	557
実績	195	178	234	287	357				

▼参考（利用者数）

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	10	11	12	12	13	14	21	25	29
実績	9	10	13	15	18				

① 利用実績と今後の見込み

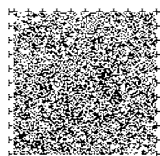
就労継続支援（A型）の令和元年度実績の利用者数は18人/月、総利用日数は357人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を29人/月、総利用日数を557人日/月と見込みます。

② 見込み量算出の背景

就労継続支援（A型）は、市内に既存の事業所がないことから、市外のサービス提供体制に依存している状況です。平成29年度以降、利用実績が目標値を上回る水準で増加傾向にあり、今後も利用ニーズは高まることを見据えて算出しています。

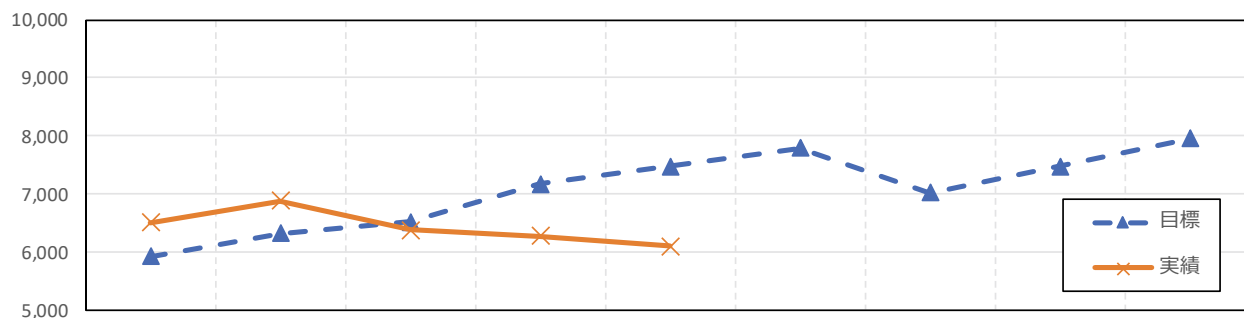
③ 確保の方策

需要を見極めた上で、必要に応じて事業所の誘致等に取り組みます。また、引き続き就労支援センター・一歩を中心とした就労支援体制等により、より就労しやすい環境づくりを目指していきます。



< 実績と目標～就労継続支援（B型）～ >

(人日/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	5,931	6,325	6,523	7,179	7,481	7,800	7,024	7,477	7,959
実績	6,512	6,886	6,390	6,283	6,108				

▼参考（利用者数）

	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	371	390	408	407	424	442	426	453	482
実績	374	390	353	390	400				

④ 利用実績と今後の見込み

就労継続支援（B型）の令和元年度実績の利用者数は400人/月、総利用日数は6,108人日/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を482人/月、総利用日数を7,959人日/月と見込みます。

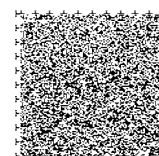
⑤ 見込み量算出の背景

就労継続支援（B型）は、平成29年度以降、利用実績が目標を下回っていますが、平成30年度から令和元年度にかけての新規の施設整備がなかったため、提供量が不足していたことが要因の1つと考えられます。

令和2年度に新規の施設整備がされたことから、潜在的な利用ニーズが充足されるとみて算出しています。

⑥ 確保の方策

就労継続支援（B型）は、利用者の重度化、高齢化に伴い、生活介護への移行が必要な人も増加してきています。一方で、近隣の特別支援学校[※]の卒業生等、今後も継続的に新規の利用希望者が見込まれるため、今後、事業者の新規参入の促進や既存事業所の事業拡大への効果的な支援策等について引き続き検討していきます。

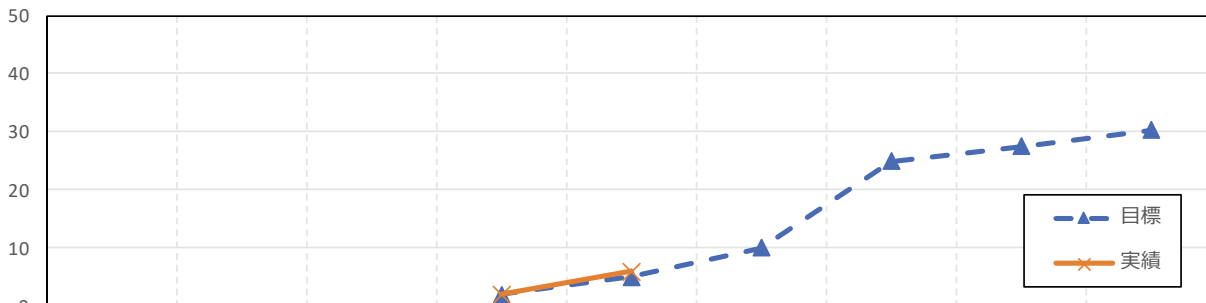


(4) 就労定着支援

就労定着支援は、就労移行支援等の利用を経て一般就労に移行した障害のある人で、就労に伴う環境変化等により、生活面の課題が生じている人の相談を受け、必要な助言、就職先や関係機関等との連絡調整を行うサービスです。

＜ 実績と目標～就労定着支援～ ＞

(人/月)



	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標				2	5	10	25	27	30
実績				2	6				

① 利用実績と今後の見込み

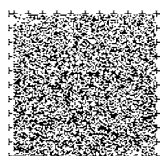
就労定着支援の令和元年度実績の利用者数は6人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を30人/月と見込みます。

② 見込み量算出の背景

就労定着支援は、平成30年度から新設されたサービスのため、利用実績はまだ少ない状況です。しかし、国の方針として、就労移行支援とセットで活用することにより、障害のある人の就労支援を充実させることとしているため、就労移行支援の増加に併せて必要な提供量を算出しています。

③ 確保の方策

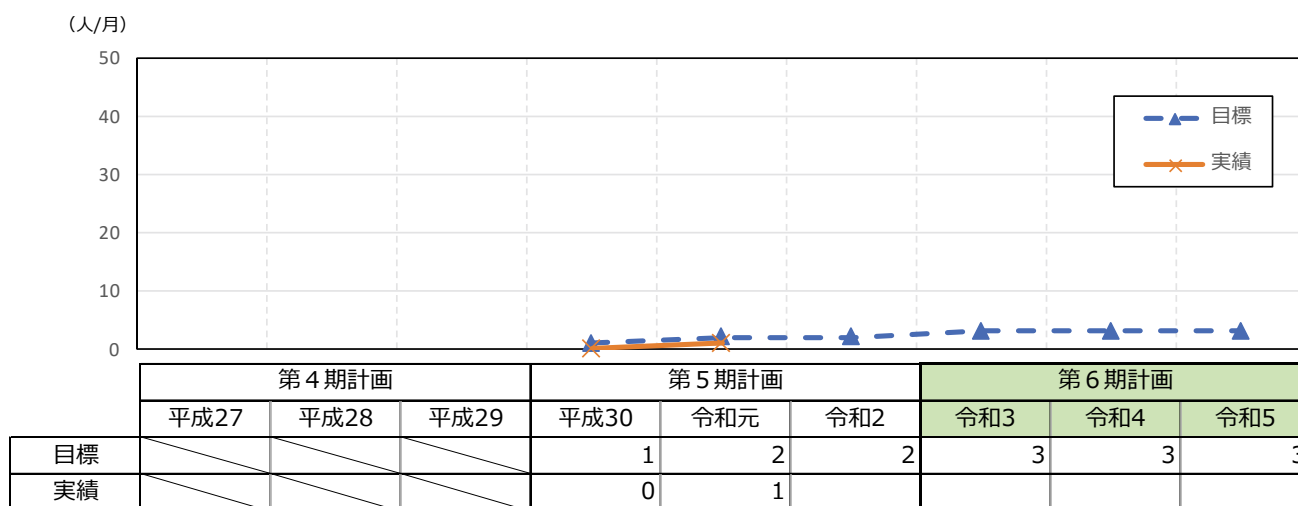
サービスの利用が見込まれる人のニーズの把握や、制度の周知、事業所の開設、参入に向けた情報収集、就労支援事業所との情報共有に努めていきます。



(5) 自立生活援助

自立生活援助は、グループホーム等を利用していた人が、ひとり暮らしを始めたときに、その居宅への定期的な訪問等を行い、普段の障害のある人の状況を把握し、必要な助言や医療機関等との連絡調整を行うサービスです。

＜ 実績と目標～自立生活援助～ ＞



① 利用実績と今後の見込み

自立生活援助の令和元年度実績の利用者数は1人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を3人/月と見込みます。

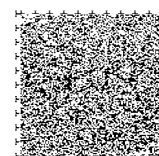
② 見込み量算出の背景

自立生活援助は、平成30年度から新設されたサービスのため、利用実績はまだ少ない状況です。また、市内に既存の提供事業所がないことから、市外のサービス提供体制に依存している状況です。

現状の利用ニーズへの提供体制を維持しながら、今後の利用者のニーズの変化を踏まえて算出しています。

③ 確保の方策

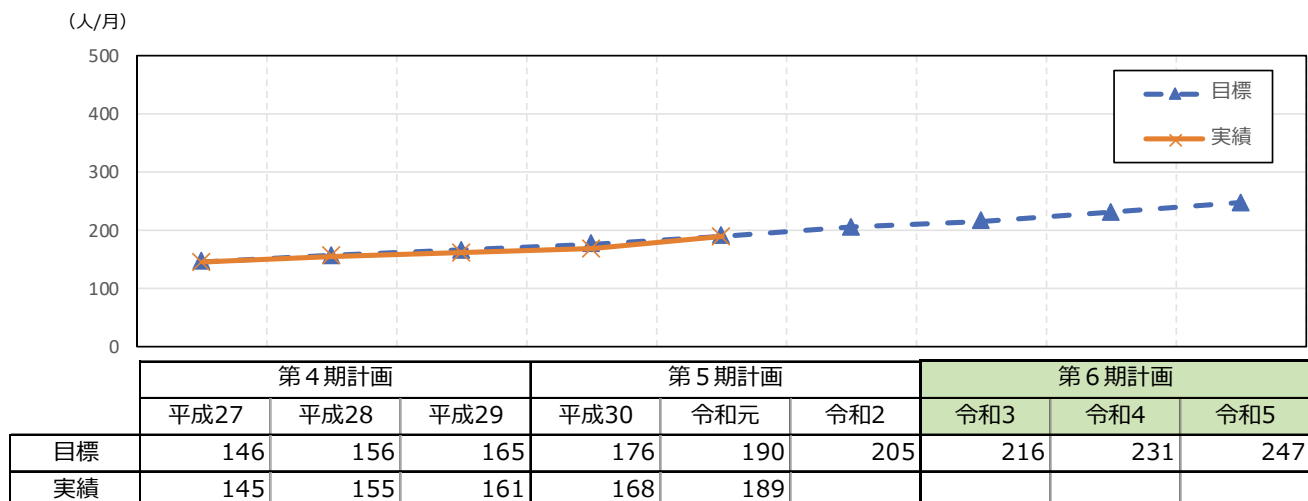
サービスの利用が見込まれる人のニーズの把握や、制度の周知、事業所の開設、参入に向けた情報収集に努めていきます。



(6) 共同生活援助

共同生活援助は、共同生活を行う住居（グループホーム）に入居する障害のある人に対して、夜間や休日等に相談や日常生活上の援助を行うサービスです。

＜ 実績と目標～共同生活援助～ ＞



① 利用実績と今後の見込み

共同生活援助の令和元年度実績の利用者数は189人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を247人/月と見込みます。

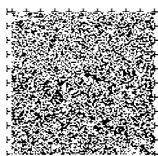
② 見込み量算出の背景

共同生活援助は、施設整備に併せて利用実績も増加しており、障害のある人の増加、重度化・高齢化や親亡き後を見据え、潜在的な利用ニーズは高いことを踏まえ、今後も利用ニーズは継続して高まるものとみて算出しています。

③ 確保の方策

グループホームの整備に向け、事業者への情報提供や都補助制度の活用等により、新規事業所の誘致等を進めていきます。

また、関係部署とも連携し、事業所の開設を検討している事業者と土地の福祉目的の活用を検討している土地所有者等からの意向をつなげていきます。

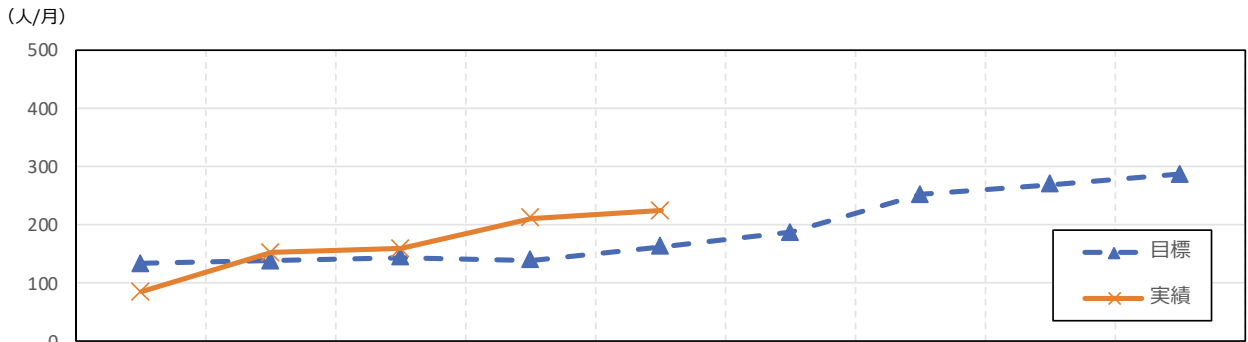


3 相談支援

(1) 計画相談支援

計画相談支援は、障害福祉サービスの利用に当たり、その人に適した障害福祉サービスの利用計画の作成やモニタリング等の支援を行うサービスです。

＜ 実績と目標～計画相談支援～ ＞



	第4期計画			第5期計画		第6期計画			
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	133	137	143	139	162	186	252	269	287
実績	84	152	158	211	224				

① 利用実績と今後の見込み

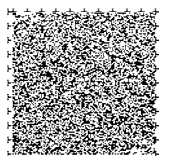
計画相談支援の令和元年度実績の利用者数は224人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を287人/月と見込みます。

② 見込み量算出の背景

計画相談支援は、障害者手帳所持者の増加に伴うサービス利用者の増加が見込まれることから、今後も増加していくものとみて算出しています。

③ 確保の方策

障害福祉サービスを利用する全ての障害のある人がサービス等利用計画を作成できるよう、市内外の相談支援事業所との連絡・調整を行うとともに、利用者に対してサービス等利用計画作成の案内を進めていきます。

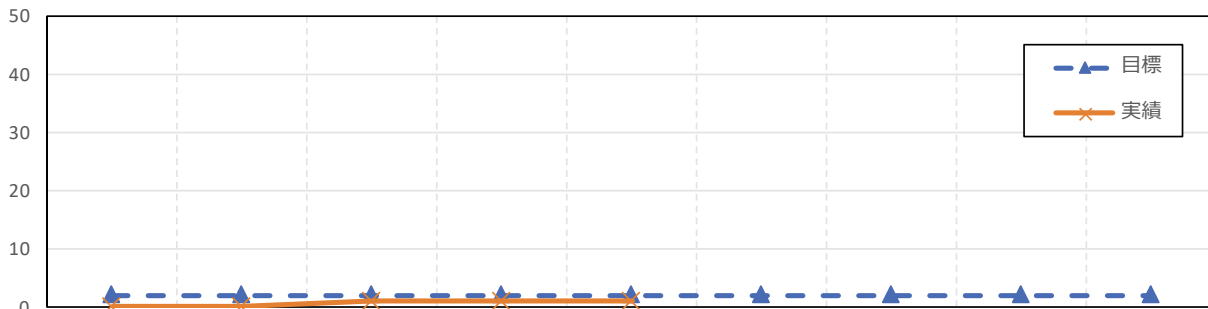


(2) 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

地域相談支援は、施設や病院に入所・入院している障害のある人に対して地域生活に移行するための支援を行ったり、地域で生活する障害のある人に対して地域生活を継続するための支援を行うサービスです。

< 実績と目標～地域相談支援（地域移行支援）～ >

(人/月)



	第4期計画			第5期計画		第6期計画			
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	2	2	2	2	2	2	2	2	2
実績	0	0	1	1	1				

① 利用実績と今後の見込み

地域移行支援の令和元年度実績の利用者数は1人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を2人/月と見込みます。

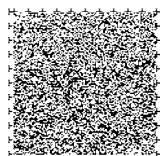
② 見込み量算出の背景

地域移行支援は、利用実績が低く、今後の見通しが立てづらいことから、現状の利用ニーズへの提供体制を維持しながら、今後の利用者のニーズの変化を踏まえて算出しています。

③ 確保の方策

地域相談支援は、入所・入院からの地域生活への移行を支援するものですが、入所希望者数は増加する一方で、地域生活へ移行する人の数は年々減少している傾向を考えると、地域での生活の受け皿となるグループホーム等の体制整備が必要です。

そこで、地域生活への移行支援と並行して、グループホーム等の基盤の整備を検討していきます。



< 実績と目標～地域相談支援（地域定着支援）～ >

(人/月)



	第4期計画			第5期計画		第6期計画			
	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
目標	1	1	2	2	2	2	2	2	2
実績	0	0	0	0	0				

④ 利用実績と今後の見込み

地域定着支援の令和元年度実績の利用者数は0人/月でした。本計画においては、令和5年度の利用者を2人/月と見込みます。

⑤ 見込み量算出の背景

地域定着支援は、利用実績がないことから、地域移行支援同様に、現状の利用ニーズへの提供体制を維持しながら、今後の利用者のニーズの変化を踏まえて算出しています。

⑥ 確保の方策

地域移行支援と同様、並行して、グループホーム等の基盤の整備を検討していきます。

